

# 株式会社橋本店 EcoNiPassを活用したカーボンフットプ rint可視化構想

橋本店の環境経営における次世代戦略として、CFP可視化に取り組みます。

2025年5月26日

常務取締役 労務安全部長

村山 英明

# 発行者情報

## 1. 発行者

常務取締役 労務安全部長  
村山 英明

## 2. 目的

橋本店の環境経営方向性を記録・説明

## 3. 文書種別

構想設計及び社内承認済み展開資料

# 構想の背景

- 1. 気候変動対策**  
次の一歩として重要な取り組み
- 2. Scope1,2対応済**  
既存の排出量管理を実施中
- 3. Scope3への拡張**  
バリューチェーン全体への対応が不可欠

# CFPの必要性

- **建設業の責任**

資材・設備の排出量見える化は社会的責任です。製品単位・工事単位での管理が求められています。

- **競争力向上**

CFP対応は受注競争力となります。環境配慮型企業としての差別化要素になります。

# EcoNiPassの活用実績

1. **Scope1・2可視化**  
GHG排出量の可視化・管理実績あり
2. **次のステップ**  
CFP機能の本格運用に挑戦
3. **システム活用**  
EcoNiPassの豊富な機能を活用

出典：  
<https://corp.wingarc.com/public/202505/news2867.html>

2025.05.21 製品情報

## 宮城県のゼネコン 株式会社橋本店が建設現場のCO2排出量を見る化にCO2排出量可視化プラットフォーム「EcoNiPass」を導入

現場に負荷をかけずにカーボンニュートラルへの取り組みを強化

ウイングアーク1st株式会社

ウイングアーク1st株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員CEO：田中 潤）は、宮城県を地盤とするゼネコンの株式会社橋本店（以下、橋本店）がCSRの一環として力建設現場におけるCO2排出量の見える化と削減を進めるため、CO2排出量可視化プラットフォーム「EcoNiPass（エコニパス）」を導入したことをお知らせします。現場の従業員や協力企業、本社の集計担当者の負荷を軽減し、環境対応の取り組みを進めています。

本社



各建設現場



協力企業 約400社

各拠点からPDFデータを共有フォルダに保存

入力代行企業



入力代行サービスが入力

EcoNiPass



- 建設現場におけるCO2排出量を把握できます
- 工事が完了し課金期間終了後も、建設開始から竣工までのデータ保存・閲覧が可能です

# CFP機能の技術概要



出典：  
<https://econipass.com/cfp-calculation-method-using-econipass/>

- **設備軸/取引先軸**：社内で使用されている設備からの排出量を分析します。どの設備が多くのCO2を排出しているかを把握することで、エネルギー効率の改善や設備の更新を検討できます。また他社から仕入れる原材料や委託企業からの排出量を考慮し、サプライチェーン全体でのCO2排出量を把握することで、より持続可能な調達戦略を策定できます。



## サマリ軸でのCO2可視化

目的は、企業全体のCO2排出量を俯瞰的に把握することで、対象ユーザーは役員や部門長、総務担当者です。機能としては、自社で製造する製品に対するCO2排出量の概要を提供し、全体的な傾向や問題点を把握するために使用されます。これにより、経営戦略に基づいた環境対策を検討する際の基礎データを提供します。

データ投入フローは各部門からのCO2排出量データを集約し、全社的なサマリを作成します。これには、各部門からの定期的な報告が必要です。データ管理は集約されたデータをダッシュボード形式で閲覧でき、役員や部門長が簡単にアクセスできるように管理されます。これにより、迅速な意思決定が可能になります。

## 製品軸でのCO2可視化

目的は製品ごとのCO2排出量を把握し、排出量の多い部分を特定することで、対象ユーザーは主に製品の製造部門の担当者です。機能としては、製品単位でのCO2排出量の推移や原単位の変化を確認し、詳細なブレイクダウンが可能です。これにより、製造プロセスの中で特に排出量が多い部分を特定し、改善策を講じることができます。

データ投入フローは製造部門からのデータ収集（生産量、エネルギー消費量など）を行い、これをEcoNiPassに入力します。データは定期的に更新され、リアルタイムで分析が可能です。入力されたデータは、分析結果とともにデータベースに保存され、過去のデータと比較することでトレンド分析が行えます。

# 試算対象の初期設定

1

- **セメント**
- 主要材料として優先対象

2

- **鋼材**
- 排出量の大きな構成要素

3

- **生コン**
- 使用頻度の高い基本資材

# 用途のイメージ

- 1. 提案書作成**  
自治体向け工事提案書に添付予定
- 2. PR資料活用**  
資材排出量管理・抑制のアピール材料
- 3. 差別化要素**  
資材排出量管理・抑制のアピール材料

# 制度との関係

1

- **エコ・ファースト制度**
- 主要水準要件に該当

2

- **CFP表示要件**
- イ\_6項目として認定

3

- **申請文書反映**
- 本書を添付資料としても活用

1

- **仕様連携完了**
- EcoNiPass提供企業（ウイングアーク 1 s t）と調整済

2

- **画面出力確認中**
- システム機能の動作検証を実施

3

- **6月末報告予定**
- 排出係数と実績照合を完了予定

# 活用後の展開案

- 1. 提案書標準化**  
CFP付き提案書の標準運用
- 2. 顧客対応拡大**  
自治体・民間ゼネコン向け展開
- 3. 環境対応型企业**  
2030年脱炭素社会での生き残り

# 他部門との連携

1. **労務チーム**  
現場作業との連携強化
2. **安全チーム**  
安全管理との統合運用
3. **施工チーム**  
実際の施工データ活用
4. **原価チーム**  
コスト管理との連動

# 中小建設業のモデルとして

- 橋本店では、この取組を中小建設業が行えるロールモデルとして展開します。

大企業の先行	中小企業の挑戦	成功モデル
GHG可視化で先行 されがちな現状	EcoNiPassで 実装可能性を証明	業界全体への 波及効果を期待

# リスクと対応方針

- 本プロジェクトのリスク対応として以下の取組を決定しています。  
社内における効果的な運用と偶発性リスクも含め、下記の通り対応します。

## 1. 3段階導入

リスク回避のための段階的実装

## 2. 第三者レビュー

数値の正確性、運用の妥当性・有効性の確保

## 3. 誤解防止

明確で誤解のない可視化

# 今後の予定

- 橋本店では、CFP対応として以下のステップで計画着手しており、今後の成果につながります。

1. **2025年5月**  
初期設計、社内報告・承認済み
2. **2025年6月**  
初期試算データ出力
3. **2025年7月**  
社内向け活用方針共有会
4. **2025年度内**  
案件ベースのCFP活用提案を正式スタート